

☆手筋を愛し、手の味を大切に。そして収束は必ず決める。

三輪 勝昭

持駒 桂 桂

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			銀			王	皇	
				馬		歩		
					銀		香	
						桂	香	

(詰バラ 平成2年5月号)

- 31歩成、同飛、32銀成、同飛、
 22桂成、①同飛、3三桂、②1二玉、
 3四馬、2三飛、2四桂、2二玉、
 21桂成、同玉、4三馬、同飛、
 32香成迄17手詰。
 ①同玉は、32香成、同玉、42飛、23玉、
 15桂、24玉、44飛成、15玉、35龍迄。

②3玉は、44桂、23玉、34馬迄。

☆将棋にしろ、囲碁にしろ、はたまた詰将棋にしろ手筋と言われるものがある。その手筋が発動した時には、10かかっていたものが1で済ませる位効果的で効率的で気持がいいものである。

しかし、将棋や囲碁など実力が伯仲して来ると、中々手筋が見事に決まらなくなってくる。

詰将棋はその点自分で創作して入れることが出来る。詰将棋創作はそれが楽しくてたまらない。

詰将棋は解答者が相手になる訳ですが、詰将棋に限らず熟練して来ると手筋は瞬時に見えるようになって来る。そのため綺麗な手筋物は解き易くなつてしましますが、小生の作り方は詰上りはギリギリの最小戦力で詰ます事を第一義としていて、難解性は度外視しています。

しかし、変化に深みを持たせ、なる

べく作意に到達出来ないよう工夫したり、どうしても簡単になりそうな時は駒の動きに面白味を持たせるようにしています。

☆本作、22同飛の形が詰む事を知らないと意外に詰まし難く、①②の変化と共にお気に入りの作品です。

① 昭和34年4月29日。

② 岐阜県大垣市笠木町。

③ 会社員。

④ 本名勝明。

⑤ 詰バラ昭和51年8月号。

⑥ 約80局。

⑦ 三段ぐらい。

⑧ なし。

⑨ 柏川悦夫、伊藤看寿。

⑩ 易しい中編の発表先を増やして欲しい。

⑪ 将棋、囲碁、競馬。